

vol.86

November 2018

学校法人常磐大学 広報誌 TOKIWA POST [トポス]

TOPOS

[特集]

常磐大学でなりたい自分になる！



常磐大学でなりたい自分になる!

私を成長させた大学生活のチャレンジ

大学生活は大きく成長できるチャンス。
常磐大学では、学業はもちろんのこと、
学内外での活動や国際交流、就職活動など
さまざまな成長のチャンスが待っています。

I want to become
the me I've
always dreamed
of becoming!

未知の体験を してみたい!



「大学生だからできること」に挑戦して
みたいと考え、サークル活動、ボランティ
ア、かさま観光大使と興味を持ったこと
には積極的に取り組みました。

語学力を 身につけたい!



自分の世界を広げるために、英語は話
せるようになりたい! 授業のみならず、
「国際交流語学学習センター」で留学生
と交流して英語力を磨きました。

勉強を頑張りたい!



幅広い知識と教養を身につける学業
は、大学生活で一番打ち込んだもの。毎
日図書館に通う習慣をつけることで、学
習時間を確保しました。

未来の可能性を 広げたい!



未来の可能性を最大限に広げるべく、
高等学校教諭一種免許状(英語)と司書
教諭の資格取得に挑戦。TOEICや英検
もステップアップを目指しました!

頑張るエンジンを 身につけたい!



時には、挫折しそうになることも。そん
なとき、励ましてくれたのは先生、職員
の方や友人たち。励まされたり、一緒に
切磋琢磨しながら、途中で投げ出さず
継続する力をつけました。



国際学部英米語学科4年
平澤優香
常磐大学高等学校出身

「なりたい自分」像は?

「自立した自分になる!」というのが
大学生活最大の目標でした。入学時
は、将来の夢は未定。だからこそ、興味
があることにはどんどんチャレンジ
しようと心に決めて取り組みました。



なぜ、英語を学ぼうと思ったの?

実は英語はあまり得意ではなかったのですが、高
校時代に途上国支援に興味を持ち、世界共通言
語である英語を学びたいと考えました。英語の
ルーツや変遷、時代背景をたどることで、英語を
「知る」楽しみが湧いてきました。

憧れのキャンパスライフ 始まる!



緑あふれるキャンパスにワクワク。印象的だったのは、将来の働き方や雇用について考える「キャリア形成と大学」の講義。以来「働くための学び」を意識しながら大学生活を送るようになりました。



START!

1年

アルバイトで 野菜の値段に衝撃!?



食に関する仕事に興味があったので、スーパーでアルバイトを開始。実家が農家なので、正直、野菜の値段が高くて驚きました! 消費者や流通の仕組みなどに触れる機会にもなり、良い社会勉強に。

汗と涙と感動の 「ときわ祭実行委員会」



1、2年は衛生担当として校内美化に奔走。3年は財務担当という責任ある立場になり、プレッシャーに押しつぶされそうになることもありました。早朝から夜遅くまでキャンパスを走り回り、毎年大変でしたが、無事終わったときの達成感は格別です!



大学で一番打ち込んだのは「勉強」!



教育職員免許状と英検準1級の資格取得が入学時に掲げた目標で、特待生で入学したこともあり、学業は熱心に取り組みました。空き時間があれば図書館にGO! 多い日で10時間以上学習したことも。一つのこと熱中する時間が好きで、頑張っている自分が好きなんです(笑)。



Memo

学業特待生制度

入学試験や在学中の成績が特に優秀な学生に対して授業料の一部を減免する制度。AO入試や推薦入試制度で入学した場合でも、別途、特待生選考試験を受験することで、特待生になるチャンスがあります。

2年

勉強、サークル、
留学、資格…
やりたいことは
全部挑戦!

教職課程にもチャレンジ!!



子どもの頃から先生に憧れていて「教えること」に興味があったので履修しました。履修科目が増えて大変でしたが、大学生活でできることはすべて取り組みたいと考えたので努力しました。やりたいと思ったら、何事もチャレンジあるのみ!



国際交流企画サポーター として交換留学生と交流



「国際交流語学学習センター」の企画サポーターに参加。留学生への観光案内や生活支援を通じて、アメリカやカナダ、タイなど世界各地に友人ができました。留学生のお役にも立てて、英語力もアップし、さらに友人も増えて一石二鳥、いや一石三鳥!?



自分から動く、
どんどん世界が
広がるよ



イギリス留学で「自立」に一步近づく



授業の一環として実施される「海外研修」に参加し、イギリスへ短期留学。最初は自分の英語力に落ち込みましたが、勇気を出してどんどん話しかけるうちに友人ができました。失敗を恐れない行動力がついたかも。初めて親元を離れて海外生活を経験したことによって、自立心が養われたかなと思います。



Memo

短期語学・文化研修プログラム

夏休みや春休みに開講される海外研修プログラムに参加し、事前・事後研修への出席や課題に取り組むことで、単位が認定されます。

アメリカ:カリフォルニア大学アーバイン校
台湾:国立台北教育大学
タイ:チェンマイ・ラジャバット大学
イギリス:チチェスター・カレッジ
フィリピン:パゴ市立大学



インターンシップで将来の夢が明確になる



農業分野と自治体の仕事に興味があったので、キャリア支援センターの勧めでJA水戸と笠間市役所でインターンシップを体験。農業分野の仕事は想像以上に面白い。やっぱり、農業に関わる仕事がしたい…!

3年

かさま観光大使に就任

地域をもっとよく知りたい!と、小学生のときに遠足に行った笠間市の観光大使に。茨城県知事などさまざまな方を表敬訪問。度胸ができました!



ここは世界への扉! 国際交流語学学習センター

途上国ボランティアと海外留学に興味があり、勇気を出してドアを開けました。国際交流の企画サポーターになり、さまざまな国の留学生と交流。留学生を水戸市内の観光スポットに案内したのは楽しい思い出です。授業の合間に語学学習エリアでe-Learningをしたり、留学生やネイティブの教職員の方と英会話を楽しむ「Talk Time」に積極的に参加し、英語力を伸ばしました。ここは大学にいながらにして国際交流できる場所。また、留学生の視点を通じて「日本を知る」体験も新鮮でした。



坂場由美子(国際交流語学学習センター職員)

留学生支援や自分自身の留学経験を通じて、学生たちは「世界が広がった!」「私って行動力があるんだ!」と自分の可能性に気づいていきます。また、留学生たちと触れ合うことで、国や文化を超えた人間同士のつながりが生まれ、相手の価値観や考えを尊重する姿勢も育まれていきます。未知への挑戦は、行動を起こすまでに迷いや躊躇もあるかもしれませんが、勇気を出して一步を踏み出してほしいと思います。その先で、驚くほど成長した自分に会えるはず。失敗を恐れず「なりたい自分」をまっすぐに見つめて、新たな可能性に挑戦していきましょう。



面接対策から悩み相談まで 就職活動を全面バックアップ!



常磐大学の就活支援は手厚い! 3年から履歴書、面接、SPIや就活メイクまで対策講座が盛りだくさん。他大学の友人にも羨ましがられます。フル活用して準備を進めましたが、困ったのは「自分のアピールポイントがわからない」こと。個別相談でとことん話を聞いていただき「私ってそんな良いところがあったんだ!」と自分発見につながりました。



FOR THE FUTURE!

大学生活の中で、学業はもちろん、サークル活動、海外留学、社会貢献活動など積極的にチャンスを生かしチャレンジを続けてきました。サポートを得ながら自ら考え行動することで、自分の世界が大きく広がり、成長を実感。なりたかった「自立した自分」に近づくことができました。大学生活で培った行動力と継続力は私の未来を支える自信です。

全国農業協同組合連合会茨城県本部 (JA全農いばらき) に、内定をいただきました!

農業分野に絞って10社にエントリーし、第1志望のJA全農いばらきに内定をいただきました。茨城県でも耕作放棄地が増えつつあります。農地を生かすべく、全農、企業、自治体がタッグを組んで有効活用していけたらと考えています。私の実家でもある農家という生産者、アルバイト先で知った流通や消費者、それぞれを結ぶ架け橋となるのがJA全農いばらき。生産者の声も取り入れ、消費者に喜ばれる事業を展開することで、茨城県の農業をもっと元気にしていきたいです!



4年

教職課程の総仕上げ! ドキドキの教育実習へ



高校へ教育実習に。元気いっぱいの生徒たちを指導するのはなかなか大変でした! 実習を経て、人前でも緊張なくなりました。「人に教える」経験は、将来の仕事にも役立つと思います。

充実の大学生活!
社会人になっても
頑張るぞ!



ここは未来への扉! キャリア支援センター

常磐大学では1年で将来の仕事や働き方について考える機会が設けられ、さらに2、3年では、目標に向かって準備を進める対策講座が充実しています。地元企業とのつながりも強く、私の目標に合わせてインターンシップ先を選定していただき、自分の進むべき道を見つけることができました。ほぼ毎月開催される学内の合同企業説明会では、JA全農いばらきの人事担当者にアプローチできました。自分の長所に気づき、社会人としてスタートする準備ができたのは、キャリア支援センター職員の方々のおかげです。



石田脩平 (キャリア支援センター職員)

私たちはじっくり4年をかけて「なりたい自分」へのステップアップを応援します。大学では興味を持ったことにはどんどん挑戦していきましょう。たとえ失敗しても、その体験で培われる行動力と主体性は自分自身の成長につながります。それが今、社会に強く求められる資質でもあるのです。また、幅広く挑戦することで「なりたい自分像」もだんだん明確になってきます。そうすると、大学生活での大きな目標も見えてくるでしょう。ここは夢を叶える場所。少しでも将来に悩みや不安があれば、ぜひ私たちに相談してください。皆さんの来訪を待っています!





第20回茨城県ゆうあいスポーツ大会で 幼児教育保育学科がボランティア体験

幼児教育保育学科1年生が5月27日、笠松運動公園で開催された「第20回茨城県ゆうあいスポーツ大会・レクリエーション競技」にボランティアとして参加しました。この競技会は、県内の施設等に在籍する心身障がい児者を対象としたスポーツイベント。本学科では毎年の参加・協力を通じて、社会を生きる人々の多様性を理解するとともに、対人援助の重要性など保育者に必要なスキルを養います。学生たちは受付・選手誘導・競技準備・補助などを担当。大会をスムーズに進行するうえでは参加者はもちろん、施設職員や大会スタッフとのコミュニケーションが欠かせません。最初は緊張した様子だった学生たちも、持ち前の元気と明るさで会場にとけ込み、積極的に競技会の運営に参加。周囲の人と力を合わせて行動することで、協調性や自発性、また集団でのマナーなどさまざまな学びを得ました。日常的に障がい児者と接する機会のある学生は多くありません。多様な個性を持つ人たちと一大イベントを成功させたことで、人と人がともに助け合う社会の大切さを実感する一日となりました。

参加した幼児教育保育学科1年生からは次のような感想が寄せられました。「最初はサポートできるか不安でしたが、参加した全員笑顔を見て、自然とけいむことができました。印象に残ったのは支援者の方の視野の広さ。一緒に楽しみながらも常に参加者への気配りを怠らない。こうした気配りと注意力は保育者にも必要



なことだと感じました」(佐藤遥さん)。「一人ひとりの個性に合わせた対応の大切さを実感しました。障がいの有無にかかわらず、誰でも苦手なことはあります。それを理解してサポートするのが保育者の役割だと学びました。講義で習ったインクルーシブ教育の重要性を忘れずに2年間学んでいきたいと思っています」(石川莉々さん)。

News and Topics

学び、体験し、日々成長している学生・生徒・園児たち。
そんな彼らの活躍の場は、校内にとどまらず
さらなる広がりを見せています。
ここでは各学校の主な活動や取り組み、実績などをご紹介します。



みんなが主役になる青春の2日間！ 生徒が作り上げた「第41回ときわ祭」

今年のときわ祭は「TOKI-WONDERFUL～あなたが主役のストーリー～」のスローガンのもと、6月1日、2日の2日にわたり開催されました。携わるすべての人のストーリーを聞かせてもらいたい。そして、ここから新たな物語が生まれることを願い、今回のスローガンが決まりました。初の試みとなる前夜祭で幕開けし、趣向を凝らしたクラスの企画はそれぞれ素晴らしく、大いに盛り上がりました。2日の一般公開日には、約4,500人のお客様をお迎えし、生徒たちの活動や発表をご覧いただきました。自分たちで企画から運営まで行い、クラスメイトと過ごした特別な時間は、今後の学校生活をより豊かなものにしてくれることでしょう。なお、閉会式では、完成度が高かったクラスに賞が授与されました。



全校 常磐大学&水戸ホーリーホックによる
「コラボデー2018」で地域交流

8月18日、地元Jリーグチームの水戸ホーリーホック対ジェフユナイテッド千葉戦会場において、常磐大学と水戸ホーリーホックのコラボデーを開催しました。法人全体で運営に取り組んでいるコラボデーは今年で9年目。総合政策学部経営学科の学生らが中心となってクイズやスタンプラリー、学生考案のカレー販売など来場者が楽しめるさまざまなイベントを実施。智学館や高校の生徒によるダンス披露や学生らによる吹奏楽の演奏が会場に花を添えました。6,122人が来場した試合は、1対0で水戸ホーリーホックが勝利を飾り、水戸ホーリーホックとともに地域を盛り上げる一日となりました。



智学館 自分たちで携帯電話のルールを考える
全校生徒による白熱の協議会

6月12日、全校生徒参加による協議会が開催されました。今回の議題となったのは「携帯電話を安全に使用するためにどうすべきか」。年次の枠を超えてグループを編成し、それぞれ議論を交わしました。大人から子どもまで携帯電話を使うことが当たり前になっている時代において、生徒一人ひとりが自覚を持って使えるよう自分たちで使い方のルールを考え、各グループで意見をまとめました。智学館生が一つになって、自分たちが生きている社会のあり方について考える機会になりました。



大学 安全で暮らしやすい地域社会に貢献
「茨城社会安全研究会」が発足

常磐大学社会安全政策研究所を中心とした研究組織「茨城社会安全研究会」が結成され、第1回となる会合が6月13日に行われました。同研究会は、県内の社会安全に関わる組織・機関の相互理解と連携を目的に結成されました。今回の会合では、富田信穂学長より同研究会に寄せる期待が述べられ、社会安全政策研究所の小柳武所長より設立趣旨などが説明されました。出席したメンバーは今後の研究会の進め方などについて活発に意見交換を行いました。同研究会では12月に公開シンポジウムを計画しており、当面はその準備などを進める予定です。

*参加団体(順不同)

- 茨城県警察本部/水戸家庭裁判所
- 水戸刑務所/水府学院
- 水戸少年鑑別所/水戸保護観察所
- 水戸市/水戸市消防本部
- 茨城県教育庁/茨城県
- いばらき被害者支援センター
- 常磐大学社会安全政策研究所



幼稚園 第67回全国幼児教育研究大会 茨城大会
自然環境を生かした活動が「公開保育」に

7月31日、第67回全国幼児教育研究大会茨城大会の一環として、本園で公開保育が行われ、全国から大勢の参観者の訪問を受けました。昨年度から本園では自然環境を生かし、子どもたちの成長に合わせた保育活動の展開に教職員一丸となって取り組んできました。年少組は手作りピタゴラ装置を利用したプールでの水遊び、多様な廃材を組み合わせたパーツ遊び、年中組はトキワの森やまつのご広場でのキャンプごっこやBBQ遊びを、さらに年長組はロープを使った土手登り、木片で船や水車を作り、それを水生植物園で動かす等の活動をしました。各学年の園児たちは、お友達の行動に刺激を受けながら、いきいきと楽しく遊んでいました。本園の取り組みは参観していただいた先生方にも好評で、教職員にとっても励みになり、学びの多い機会となりました。



大学短大 常磐大学・常磐短期大学の
保護者会を開催しました

6月30日、常磐大学・常磐短期大学の保護者会を開催しました。講演会、常磐大学後援会総会・常磐短期大学父母の会総会ののち、学生食堂での昼食、学科別懇談会、施設見学などを行いました。当日は最高気温34度を記録する暑さの中、多くの保護者の方々にお集まりいただき、大学・短期大学の取り組みや学生生活、就職支援などの情報を共有する良い機会となりました。保護者の方々からは「学科の学びの内容を深く理解することができた」「大学

での生活の状況を担当教員に詳しく聞くことができた」「また来年も参加したい」などのお声をいただくことができました。





大学 TOKI²プレナース1日体験で 看護師への夢が広がる!

8月24日、看護の分野に関心のある高校生が看護学部授業を体験し、実習先の水戸医療センターを見学する「TOKI²プレナース1日体験」が開催されました。午前中は見和キャンパスにて、常磐大学で看護を学ぶ意義や最新の知見に基づいた看護についての講義を受講。在学生とのランチ&おしゃべり会の後、午後は桜の郷キャンパスへ移動し、病院見学へ。救命救急センターでは説明に熱心に耳を傾け、先輩看護師の体験談から看護の仕事の奥深さを知ることができました。振り返りとして看護を目指す同志と将来を語るグループワークを行い、各自の看護師のイメージが深まりました。最後は村井文江看護学部長より参加証が授与され、自分の未来をイメージする良い機会になりました。



大学 「石の上にも3年!」セミナーで 地域で働く若手社員を応援します!

常磐大学(旦那ゆみ教授・菅田浩一郎准教授、キャリア支援センター)主催の若手社員研修「石の上にも3年!」セミナーが9月20日、水戸市内のホテルで行われました。若手社員が直面する仕事の課題や職場での悩みを共有し、実社会で働くための活力を養うのが狙い。今回のテーマは「仕事でやりがいや難しさを感じるときは?」「明日から自分が取り組みたいことは?」などで、先輩社員2人と若手社員4、5人のグループに分かれて意見を交わし、より良い働き方について話し合いました。それぞれの課題を会場全体で共有することで、悩んでいるのは自分だけではないことに気づき、より良い働き方のヒントをつかむ有意義なセミナーになりました。



大学 常磐大学ゴルフ部(女子)が快進撃! 連続優勝で、強豪校ひしめくCブロックに昇格

5月7日、常磐大学ゴルフ部が平成30年度春季関東女子大学対抗チャレンジカップで優勝しました。初の団体戦でしたが、合計144ストロークで、2位に12打差の大差で優勝。また、宮本夏実さん(人間科学部現代社会学科1年)が最優秀選手に輝きました。この勝利でDブロックに昇格し、平成30年度関東女子大学秋季A・B・C・Dブロック対抗戦では2位の上智大学に24打差をつける大差でDブロック優勝。宮本さんが最優秀選手賞を獲得しました。来春の春季団体戦からは、Cブロックでの戦いが待ち構えています。強豪校ひしめくCブロックでも優勝争いに食い込めるよう、日々の練習や冬季トレーニングに励んでいきます。引き続き、常磐大学ゴルフ部への応援をよろしくお願いいたします。

【Dブロック出場校】

常磐大学
上智大学
東洋英和女学院大学
立教大学
大妻女子大学
明治学院大学
日本女子大学
帝京大学



高校 夏のオープンスクール開催! 2,000人超の来場者を生徒がおもてなし

7月23日~26日に開催されたオープンスクールでは、2,000人を超える中学生ならびに保護者の方々にご来校いただきました。吹奏楽部のウェルカムコンサートから始まり、部活動紹介や校内スタンプラリーなど、生徒自ら常磐大高の魅力を熱く伝えました。体験学習では、高校生活の一部を体験できる催しも。参加者からは「とても楽しかった」「先輩が親切に案内してくれた」などの感想を多くいただきました。



高校 カナダサマーキャンプ&3カ月語学留学 期待と夢を胸に20人の生徒が渡航

10日間語学研修プログラム(サマーキャンプ)の参加者19人と、3カ月語学留学プログラムの参加者1人、計20人が8月16日にカナダ・アルバータ州エドモントンに向けて出発しました。今年度は智学館中等教育学校と合同開催となり、例年にまして賑やかな一行。サマーキャンプでは、ロッキーマウンテンでのショート・トリップや市内散策を通じて、カナダの自然と文化に触れることができました。3カ月語学留学に参加した生徒は、ハリー・エインリー高校の生徒として、11月まで現地で高校生活を送ります。



高校 水泳部、インターハイ出場! 「2018 彩る感動 東海総体」

8月17日~20日、日本ガイシアリーナ(愛知県名古屋)でインターハイが行われました。本校水泳部から個人種目、リレー種目合わせて7人の選手が出場。神坂詩音さん(3年)がB決勝に進出しました。今回のインターハイでは初となるリレー種目にも出場し、チームとして結果を残すことも意識して臨みました。全国から精鋭が集まる大舞台の戦いで選手たちにとって大きな成長につながる経験となりました。大会結果は高校ホームページで随時更新していますので、ぜひご覧ください。





英語オンリーのEnglish Dayを開催！ 日頃磨いた英語スキルを披露しました

7月7日、英語学習の成果を発表する「English Day」を開催しました。前期課程生は各年次が英語の歌詞暗唱、英語劇、インタラクティブ・フォーラム形式の討論を行い、後期課程生は「国内研修旅行でどこに行きたいのか」「自分の将来就きたい仕事」について英語によるプレゼンテーションを披露しました。どの生徒も今まで学んできた知識や経験を生かした素晴らしい発表内容で、自分の考えを人に伝えるプレゼンテーションスキルも高めることができました。



関東高校演劇サマーフェスティバル2018で 演劇部が『ヤギガリフレイン』を好演

8月17日、東京・北千住のシアター1010で開催された「関東高校演劇サマーフェスティバル2018」に本校の演劇部が出演しました。高校演劇関東ブロック1都10県から本校を含む推薦校8校と、地元足立区の中学生合同チームが出演しました。本校は顧問が脚本を書いたオリジナル劇『ヤギガリフレイン』を上演し、会場は大きな拍手に包まれました。今回の大舞台での経験は、生徒たちにとって大きな自信につながりました。



米アナハイム市の学生親善大使が来校！ 体育や書道を通じて、智学館生と交流

6月28日、水戸市と国際親善姉妹都市の盟約を結ぶアメリカ・カリフォルニア州アナハイム市から学生親善大使として6人の留学生が来校しました。生徒会役員が校舎施設を英語で案内しながら各教室をまわり、全校生徒に紹介。その後留学生たちは、体育や書道、調理実習の授業などに参加し、生徒たちと交流を深めました。異なる文化、地域で暮らす同世代の仲間との交流は、本校の生徒たちにとっても貴重な経験になりました。



園児も保護者の方も縁日を満喫 「夏まつり」でお祭り気分

8月10日、夏まつりを開催しました。夏の日が落ち、心なしか吹風が涼しくなった夕方から、夏らしい装いに身を包んだ親子が次々と登園。園児たちはお楽しみ券を握りしめ、ヨーヨーつりやくじ引きなどの縁日の出し物6コーナーを思い思いに楽しみ、お祭り気分を満喫しました。保護者やご家族の皆さんも童心に帰り、お子さんと一緒に楽しんでいただいた夏の夕べでした。



老人ホーム「ローズヴィラ水戸」訪問で 地域のおじいさん、おばあさんとのふれあい

園児たちと地域のおじいさん、おばあさんとの交流の機会を作りたいとかねてから温めていた計画が実現し、9月12日、介護付有料老人ホーム「ローズヴィラ水戸」への年長児たちの訪問が叶いました。50人を超える入居者の方々の歓迎を受け、一緒に手遊びをしたり、童謡を歌ったり、優しく肩をさすったりと楽しい時間を過ごすことができました。最後に、子どもたちが「お元気で」という願いを込めて作製したコースターをプレゼントし、心温まるお礼のお言葉もいただきました。入居者の皆さんに、大きな拍手と優しい笑顔で見送られ、園児も引率の教職員も感激しました。



おうちに着くまでが避難訓練！ 毎年恒例の「お迎え訓練」

天災への備えが必要な昨今、大地震発生を想定し、保護者の方々にお迎えに来ていただく恒例の訓練を9月14日に実施しました。園児たちは避難の指示を受けると、教職員とともに大学のグラウンドまで落ち着いて避難することができました。ご家族の方が迎えに来ると、どの子どもも安心した表情に変わりました。保護者の皆さんの協力のもと、「おうちに着くまでが避難訓練」という意識を最後までみんなで共有できました。





Eye on Clubs

部活動で輝く生徒に注目!

高等学校

マーチングで大躍進! 演奏で元気を届けたい

吹奏楽部

Wind Orchestra



常磐大学高等学校吹奏楽部は、今年度から行進や振り付けとともに演奏する「マーチング」に本格的に挑戦しています。「第55回茨城県マーチングフェスティバル」では銀賞に輝き、最も優れた演技・演奏をした団体に贈られる朝日賞も受賞。さらにこの秋「東関東マーチングコンテスト」への出場も果たしました。初出場にして勝ち得た快挙に、顧問を務める首藤美香先生は「今年の部のテーマは『Chasing a Dream (夢を追いかけて)』憧れのマーチングの舞台に向かって、部員一体となって取り組めたことが成果につながったと思います。マーチングに必要な体力や表現力を高めるメニューも取り入れ、演奏パフォーマンスの向上に努めました」と話します。吹奏楽コンクールに加え、マーチングという新たな目標に向かって部員一同、切磋琢磨しています。

吹奏楽部 部長
清武夏音 (高校3年)

新たな挑戦が みんなの力を引き出しました

マーチングへの挑戦は、部員みんなの希望でした。体力的にも精神的にもハードでしたが、夏合宿で一致団結して大会では最高の演奏ができたと思います。演奏していて「楽しい!」と感じるのは、月数回ある地域での演奏会。お祭りや広場で多くの方々に演奏を聴いていただけることは、私たちの大きなやりがいになっています。応援してくださる地域の皆さん、先生方への感謝を忘れず、聴く人が元気になる演奏を届けたいと思います。

DATA

常磐大学高等学校吹奏楽部
部員数: 20人 (男子3人、女子17人)
2018年度: 第55回茨城県マーチングフェスティバル銀賞・朝日賞
第27回スプリングコンサート



インスタもあるよ!

「常磐大学高等学校吹奏楽部」で検索



青春ジャンプ!



ランニングも練習の一環



初めての夏合宿!



一点集中!



以心伝心。息を合わせます



ロボット科学部は「こんなロボットがあったらいいな」という夢をプログラミングと機械工作を通じて実現します。顧問のジェームス・ギボン先生は「アメリカでは多くの州で中学課程からプログラミングの授業が導入されています。好奇心豊かで吸収力の高い10代に遊びながらさまざまな製作体験をすることで、将来、社会の問題を自由な発想で解決できる人に育ててほしい」と話します。活動の中心となるのは、毎年開催される国際的ロボットコンテスト「ワールドロボットオリンピック(WRO)」に向けた新規ロボット開発。2018年度は、4年次チームと5年次チームが金沢での全国決勝大会に進出する快挙を果たしました。次なる目標に世界大会進出を掲げ、日々研究に励んでいます。



WRO2018出場ロボットの詳細はこちら!

《 4年次 チーム 》 工場から船へ!
港湾で働く食料運搬ロボット



僕たちが作ったのは工場から港の船まで食料貨物を運ぶロボットです。光センサーが通路の黒線に従って移動し、貨物の「色」を読み取って選別、運搬する仕組みです。食料貨物輸送にかかる労力を省き、流通をスムーズにするのが目的です。正確性とスピードを実現すべくプログラムと設計に改良を重ねました。

「1年次のスポーツ&ホビーの授業でロボットに興味を持ちました。決勝大会では緊張した雰囲気の中で、いつも通りのパフォーマンスができたと思います(左:西村敏喜)。「モーターやセンサーなど機能ごとにオリジナルのプログラムを組み込みました。WROは4度目の挑戦ですが、過去最高の成果を残せました(右:柳瀬祐紀夫)。

《 5年次 チーム 》 1台4役! 農業問題を解決する
トラクターロボット



農業が抱える人手不足の問題を解決すべく、私たちが開発したのは、肥料散布、植付け、収穫、運搬まで1台ですべてをこなすトラクターロボットです。操作レバーで走行を遠隔操作したり、ポインターで細かな動きを制御できます。また、アタッチメントを取り替えることで、さまざまな農業に活用できるようにしました。

「改良を重ねて、ポインターという新たな技術の導入に成功しました。今興味があるのは、自動運転車の安全技術。将来はロボットエンジニアになりたいです(左:石井孝坪)。「私は初めての挑戦でしたが、英語でのプレゼンテーションにも挑戦しました。将来の夢は通訳。そのために幅広い知識を身につけたいです(右:飯島れいな)。

DATA

智学館中等教育学校ロボット科学部
部員数: 14人(男子13人、女子1人)
2018年度: 第15回WRO Japan決勝大会出場



Campus schedule	
大学・短大	
TOKIWA OPEN LECTURE	11/17(土)・11/24(土)
幼教フェスタ	12/23(日)
大学一般入試 I期試験日	2/2(土)
短大一般入試 試験日	1/26(土)
高校	
推薦入試	1/9(水)
一般入試	1/15(火)
特別授業	2/3(日)・2/17(日)
智学館	
入学試験	11/18(日)・1/5(土)
3学期終業式	12/22(土)
4学期始業式	1/7(月)
幼稚園	
入園願書受付・入園考査	11/1(木)
育児に役立つ勉強会	11/14(水)・2/6(水)
発表会	12/8(土)

寄付者ご芳名 (敬称略)

ご厚情に深く感謝し、以下のとおりご報告いたします。
[2018年5月～9月受け付け分]

諸澤幸雄奨学金制度への募金	
個人	
5,000円	坂井 知志*
芳名のみ公表	江原 麻子*
	齋藤 祐輔*
	室谷 直子*
累計金額 101,017,208円	

見和キャンパス開設50年施設整備事業募金	
法人・団体	
20,000円	(株)黒澤米穀
芳名のみ公表	茨城日産自動車(株)
個人	
50,000円	小柳 武*
50,000円	富田 恭平*
芳名のみ公表	村中 均*
	室谷 直子*
	内田 和毅*
	関 いつみ*
	久松 雄大*
	横山 正和*
	岩間 健一郎*
累計金額 11,803,140円	

社会福祉士を目指す学生への支援および 介護職員初任者研修奨学金 (2018年度事業分)	
3,200,000円	一般財団法人 安寿苑

●複数回お申し込みくださいました方は芳名に*を付しました。

皆さまからのご意見大募集!

- ①印象に残った記事とその理由など
- ②今後、広報誌で取り上げてほしいテーマなど

皆さまからのご意見・ご感想を
メールまたははがきでお寄せください。

※名前、住所、本学との関係(在籍者の場合、所属する
学校名)も併せてご記載ください。

[メール送信先] kikaku@tokiwa.ac.jp

[はがき郵送先] 〒310-8585

茨城県水戸市見和1丁目430-1

学校法人常磐大学 総務課広報係



お寄せいただいた方の中から、
抽選で20名様に
常磐大学オリジナルグッズを
差し上げます。



常磐大学大学院
常磐大学
常磐短期大学



常磐大学高等学校
智学館中等教育学校
常磐大学幼稚園



<https://www.tokiwa.ac.jp/>

諸澤幸雄奨学金奨学生等決定のお知らせ

2018年6月に開催した諸澤幸雄奨学金奨学生決定通知書授与式ならびに外国人学生奨学金および授業料減免決定通知書授与式について、以下のとおりご報告いたします。



諸澤幸雄奨学金	大 学	I種奨学生 7人 II種奨学生 4人
外国人学生奨学金	大 学	2人
外国人学生授業料減免	大 学	4人
	短期大学	2人

寄付募集の詳細については、
ホームページをご覧ください。

寄付金のお申し込みおよびお問い合わせ

学校法人常磐大学 会計経理課 寄付係

[お電話で] 029-232-2554

[メールで] kifu@tokiwa.ac.jp



常磐大学は平成28年度大学評価の結果、(公財)大学基準協会による第三者評価に適合していると認定されました。



常磐短期大学は平成26年度(一財)短期大学基準協会による第三者評価の結果、適格と認定されました。